



佐藤まさみ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

幕張新都心活性化で提案

海からのアクセス整備

習志野市選出で県議5期目半ばを過ぎ、県政界で発言力を増す佐藤正己(さとう・まさみ)県議は、9月定例県議会の一般質問に登壇し、幕張新都心の活性化を求めて発言しました。佐藤県議は、県の港湾計画に位置付けられている浜田川河口部の旅客船埠頭棧橋を整備し、新都心への海からのアクセスを図るよう提言し、議場の関心を集めました。また、森田知事3期目の新総合計画に「戦略的企業誘致」と謳われていることから、圏央道の1日も早い開通を目指し、道路ネットワークの整備と一体的に企業誘致を進めていく視点こそ重要だと指摘しました。習志野市内の交通問題でも新たな答弁がありましたので、佐藤県議の主な質疑を特集しました。

9月県議会一般質問に登壇



9月議会の一般質問に登壇した佐藤県議

佐藤議員 私は、幕張新都心の活性化について、毎回の質問させていただいていますが、幕張新都心が本県の発展にとって極めて重要な役割を果たしており、その活性化は最も重要な課題だと考えるからです。幕張は海に近いわけですから、例えば、海からのアクセスを利用するなどの思い切った対策を検討すべきではないかと思えます。実際、県が作成した千葉県港湾計画によれば、マリスタジアムの脇を流れる浜田川の河口部に旅客船埠頭棧橋を整備するという計画が記載されています。

浜田川河口部の埠頭用地を利用して、海からのアクセスを図ってはどうか。
県土整備部長 平成14年3月改訂の港湾計画では、東京湾の海上交通ネットワークの強化と海洋性レクリエーション機能の充実を図るため、幕張C地区の浜田川河口部に旅客船埠頭を位置付けています。当地区に海上バス

や湾内遊覧船が係留できる棧橋などを整備し、海からのアクセスを図ることは、賑わいと憩いの場の創出と相まって幕張地区の機能と魅力をさらに高めるものと考えます。

新たな価値を創造

佐藤議員 幕張新都心の活性化のために、どのように取り組んでいくのか。
総合企画部長 千葉市及び習志野市にまたがる幕張新都心は、アジア有数のコンベンション施設である幕張メッセをはじめ、国際的な企業や革新的なベンチャー企業、専門性の高い大学や研究機関など多数の機能が集積しています。

県としては、今後も地元自治体や企業などと連携しながら、幕張新都心を活性化していく必要があると考えています。このため、東京オリンピック・パラリンピックの開催を絶好の契機と捉え、幕張新都心の魅力を広く国内外に発信するとともに、世界の人、モノ、情報が行き交い、新たな価値を創造する拠点としての成長を図ってまいります。

旅客船埠頭の整備に当たっては、当地区の土地利用との整合及び施設の整備主体等の課題があるところですが、県では今後、国などの関係機関と調整を進めてまいります。

浜田川河口部に旅客船棧橋を

要望 幕張新都心で3年後に開催されるオリンピック・パラリンピックについて、県の将来の発

愛媛国体を視察

千葉県議会の超党派議員で構成するスポーツ振興議員連盟の会長を務める佐藤正己県議は、9月30日と翌10月1日、松山市の総合運動公園陸上競技場で開かれた第72回国民体育

大会開会式を視察、ソフトボールの試合を観戦しました。また、開会式に先立ち、本県選手団と意見交換を行い、大会での活躍を期待し、激励しました。



●県政や習志野市のご相談、ご意見を聞かせてください

佐藤まさみ 県議事務所
〒275-0001 習志野市東習志野3-5-1
TEL.047-475-2001

「戦略的な企業誘致」で問題提起

圏央道 大栄・横芝間の見通し 組織横断的な対応求め

佐藤議員 新しい総合計画「次世代への飛躍 輝け！ちば元氣プラン」が公表されました。ただその中で、私が気になったのは「地域の特性に応じた戦略的な企業誘致」という表現です。具体的に取り組みも書かれていますが、その内容では、これまでの取り組みと何ら変わることがなく、どこが戦略的なのか、私にはよく分かりません。

仮にも「戦略的な企業誘致」と言うのであれば、地域の骨格となるべき圏央道の未開通区間である大栄・横芝間の進捗という課題を踏まえ、これと一体的に企業誘致を進めていくという視点は不可欠であり、この点に言及しないことはあり得ないと、私は思います。

その点、茨城県や栃木県など北関東地域では、驚くほど企業誘致が進んでいきます。製造業の工場立地面積は、茨城県が全国1位となっています。この視点を欠いた企業誘致は、いくら戦略的と言おうと、私には絵空事としか思えません。圏央道の大栄・横芝間の完成見込みはどうか。

森田知事 圏央道は、人やモノの流れをスムーズにし、首都圏における交流・連携を強化するとともに、生産性の向上、企業立地の促進及び防災力の強化等に寄与する大変重要な道路です。大栄・横芝間については、現在、全線にわたり用地取得が展開され、いよいよ今年度から工事着手となることから、事業に弾みがつくものと考えており、完成時期についても早期に示されるよう、国に働きかけてまいります。



再質問する佐藤県議

森田知事 本県の強みで

ある圏央道やアクアライン、成田空港といった充実した交通ネットワークを、企業誘致につなげるため、私自ら企業誘致セミナー等を通じて、積極的にPRしていきたいのか。

また、県への企業立地が進む一方で、その受け皿となる産業用地の確保については、中長期的課題と認識しており、圏央道周辺地域など企業ニーズが見込まれる地域における今後の産業用地の確保のあり方について、市町村とも連携を図りながら、検討してまいります。

本県の強み生かしPR

佐藤議員 立地優位性が高まる圏央道周辺地域において、県はどのように戦略的な企業誘致に取り組んでいくのか。

また、県への企業立地が進む一方で、その受け皿となる産業用地の確保については、中長期的課題と認識しており、圏央道周辺地域など企業ニーズが見込まれる地域における今後の産業用地の確保のあり方について、市町村とも連携を図りながら、検討してまいります。

要望 「戦略的な企業誘致」と言いつつであれば、企業誘致担当部局と道路整備担当部局の間を調整し、組織横断的に対応すべきです。この点を県政運営に反映していただきたく、強く要望します。

道路問題

佐藤議員 習

志野市と船橋市の市境に、船橋市高瀬町に「旧第二湾岸道路用地」なる土地があります。この用地は、将来の道路用地として確保していたものです。

外環道と関東自動車道が高谷ジャンクションで接続されるようとして、この旧第二湾岸道路用地を活用し、湾岸地域の二層の交通渋滞の解消を図り、地域産業の発展と交通ネットワークの更なる強化を実現すべきだと思います。外環道の高谷ジャンクションから旧第二湾岸用地まで延伸する新たなルートを検討するよう、国に働きかけるべきと思うがどうか。

佐藤議員 都市計画道路3・3・15号美浜長作線の現状と、今後の見通しはどうか。また、美浜側の未着手部分0・5キロについてどう考えるのか。

佐藤議員 同路線については、渋滞緩和や歩行者の安全確保を図るため、長作交差点を含む約0・8キロ区間で、現道拡幅工事を進めています。

これら、渋滞箇所である長作交差点付近を優先的に用地取得しているところですが、一部の地権者の理

湾岸地域の渋滞緩和を

県としても、外環道開通後の交通動向について、国と連携して調査を行い、湾岸軸の強化に資する道路ネットワークの形成を国に働きかけてまいります。

私は県会議員になってかれこれ20年、藤崎茜浜線31年度完成目指し協議

佐藤議員 都市計画道路3・3・3号藤崎茜浜線の現状と今後の見通しはどうか。

佐藤議員 都市計画道路3・3・3号藤崎茜浜線の現状と、今後の見通しはどうか。また、美浜側の未着手部分0・5キロについてどう考えるのか。

佐藤議員 同路線については、渋滞緩和や歩行者の安全確保を図るため、長作交差点を含む約0・8キロ区間で、現道拡幅工事を進めています。

これら、渋滞箇所である長作交差点付近を優先的に用地取得しているところですが、一部の地権者の理

なりませんが、この間、ずっとこのことについて国に要望しているのも事実です。改善の策として、高谷ジャンクションから第二湾岸道路用地を活用するという方向を考えていただくよう、問題提起をさせていただきたい。

鉄道会社と協議してまいります。

藤崎茜浜線を視察する佐藤県議

美浜側は来年度事業化へ

美浜長作線

美浜側は来年度事業化へ

美浜長作線

美浜側は来年度事業化へ

美浜長作線

解が得られていないことなどから、現在の取得状況は面積ベースで約9%となっています。美浜側の未着手部分については、隣接する武石インターチェンジまでの区間の整備が進み、事業の必要性が高まってきたことから、来年度より事業化に向けて国と協議を進めてまいります。

要望

未着工0・5キロ区間については、ただちに事業に着手するというのを確認させていただいたので、よろしくお願います。